

平成30年度  
福島町議会定例会  
6月会議議案

- 報告第2号 福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告について

福島町



答弁指定事項進捗状況調書一覧

整理No.	質問要旨	議員名
22	定住・移住促進に向けた考え方について	平沼 昌平
23	定住促進住宅等奨励事業	川村 明雄



答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29. 9. 22
開催日	H29. 9. 15	議案名等		定住・移住促進に向けた考え方について (一般質問)	
会議名	定例会9月会議				
質問要旨	<p>町長は1回目の答弁の中で定住促進なり水産業、農林業それぞれに奨励金を出して、それなりの成果を得ている、また、出産祝金を始めてからは第3子以降の出生数が増加傾向にあり、人口減少の緩和を見ていることから一定の成果は上がっているという判断の下でまだ検証はしていないということですが、総合計画の後期実施計画策定までに制度の検証をしていきたいという考えでよろしいですか。</p>				
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)	<p>施策や制度については、一般的に3年から5年を目途に検証を加えながら、改善があれば加えていくという形が一般的と考える。当制度は平成24年度、村田町長時代に私が企画を担当した時に制度化して、今に至っており、自分が選挙公約で追加したのもあり、若い人達の子育て環境に力を入れたいということで、進めている。本来、制度が走ってもう6年以上経過し、その間しっかり検証すべきだったが、しっかりした検証を役場全体として行っていないが、総合計画前期の中では、この制度を継続することを考えている。後期にあたっては、財政的な問題、時代の変化もあると思うので、改正が必要であれば直していく。継続するものは継続し、新しいものが必要であれば、取入れていくという形で、内部でしっかり検証していきたいと思っています。</p>				
対応・進捗状況	対応済み (平成 年 月 日)	対応中		実施不可	
取り組み状況	<p>■平成30年5月31日 現在</p> <p>当該制度を活用した方に対し、定住・移住施策の検証に係るアンケート調査(6月)を実施してまいります。</p>				
調査を終了する本会議		平成31年度定例会12月会議			
その他参考事項	追跡内容は上記の1項目としました。				

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	川村 明雄	確認年月日	H29.9.22
開催日	H29.9.21	議案名等		定住促進住宅等奨励事業費 (平成28年度福島町一般会計歳入歳出決算認定 について)	
会議名	決算審査特別委員会				
質問要旨		<p>同制度での中古住宅購入は500万円以上でなければ該当にならないが、福島町の現状は500万を超える取引が年に1件あるかないかであり、ほとんどが500万以下。若い人は100万円以下で取引し、リフォームして住み、リフォーム代の方が取得費よりも莫大に高いという現状があることから、中古住宅取得の下限については100万円以下まで対象とし、助成額も固定額ではなく購入価格の10パーセントとしたほうが有効と考える。また、リフォーム代他に、不動産取得税、固定資産税等、住宅取得後の費用もあることから、現状を十分分析し、福島町の現状にあった定住対策を進めて頂きたいと思うが町長の考えは。</p>			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		<p>当初、制度を作った後しっかりとした検証はしていないが、需要が本当にあるのであれば、制度を変えて行くのは問題なく、本当に若い人が中古物件を安く買ってリフォームして住んでいくのであれば、そこに補助していくのはなんらおかしいことではないと思っている。 しっかりと検証させて頂いて次のステップに進みたいと思います。今すぐ制度を変えるのではなく、しっかりと状況を捉えて、若い人たちの需要があるのであれば、前向きに政策を組むのが私の仕事ではないかと思っている。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中		実施不可
取り組み状況		<p>■平成30年5月31日 現在</p> <p>定住促進住宅等奨励事業の検証については、資料等で把握が可能な範囲において調査を進めておりますが、物件の異動等については把握できるものの、取引価格の把握は困難ですので、実態把握の方法等について引き続き検討を進めてまいります。</p> <p>※3月会議の報告内容に変更ありません。</p>			
調査を終了する本会議			平成31年度定例会12月会議		
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			